

幌延町地域振興(観光)計画の策定に関する 第3回検討ワークショップ 参加者募集



今年度、幌延町では“観光振興”をキーワードに産業振興やまちの賑わいづくりの指針となる『幌延町地域振興(観光)計画』を策定を目指し、これまでに全2回のワークショップを開催しました。

3回目となる今回は、「幌延町地域振興(観光)計画(案)」について、ご確認頂きます。

ご参加のほど、お願いいたします。

【応募資格】 町内在住の20歳以上の方

☆第1回目・第2回目に参加していない方も大歓迎！☆

第1回
現状を共有し、これから
を考える

平成28年7月6日(水) 18:30~20:30

場所: 幌延深地層研究センター国際交流施設

済

幌延町の“現状”と“これからの姿”について
『①まちの特産品 ②まちの拠点 ③観光によるまちおこし』
をテーマにグループ討議を行いました。

第2回
具体的な“課題”と
“取組み”を考える

平成28年10月28日(金) 18:00~20:00

場所: 幌延深地層研究センター国際交流施設

済

今後の“具体的な取組み”について
『①まちの特産品 ②まちの拠点 ③観光によるまちおこし』
をテーマにグループ討議を行います。

第3回【最終回】
計画最終版を確認する

平成29年1月18日(水) 18:00~20:00頃

場所: 幌延深地層研究センター国際交流施設

幌延町地域振興(観光)計画【案】について確認します。

開催決定!!

平成29年1月16日(月)までにお申し込みください

氏名	住所	電話番号

※応募の際は上の表に必要事項をご記入のうえ、本紙をFAX送信もしくは役場産業振興課企画振興グループ窓口へ提出してください。電話でも受け付けます。

○問い合わせ先及び応募先
幌延町役場産業振興課企画振興グループ
電話: 5-1113(内線232・233・234) / 告知端末機: 5-8814 / Fax: 5-2971



第2回 ワークショップ開催結果

日時	平成28年10月28日 18:00~20:00
場所	幌延深地層研究センター 国際交流施設1階多目的 ホール
参加人数	34名



各テーブルでは、主に以下のことが話されました。

＜まちの特産品＞ 参加者：6名

- 酪農家が主体となった幌延産牛乳の活用（第三者の評価によるブランド化、お菓子等の商品開発）。
- 下沼湧水の活用（豆腐や酒の開発、町内飲食店での提供）。
- トナカイや合鴨を活用するためには増産が必要。
- 有機野菜の産地となり、農業を目指す若者の受け入れなどを進め、交流人口を拡大。

＜まちの拠点＞ 参加者：7名

- 案内所や車中泊ができる駐車場、温泉、町民憩いの場など多機能な道の駅。
- トナカイを使った楽しいメニュー開発（聖地サンタの里になる、ワンピースとの関連付け、トナカイに愛称を付けてそれぞれのキャラクターを明確にする）。
- 今ある施設の活用を考えた拠点づくり。

＜観光によるまちづくり＞ 参加者：8名

- トナカイ観光牧場やノースガーデン等の既存観光資源の磨き上げ、町民が楽しめる環境づくり。
- サロベツ湿原や北大研究林などの自然資源を活用した体験型観光を推進（町民が幌延を知る機会をつくる、ガイドの育成）。
- 湿原サイクリングやタ（ゆう）カフェなど景観の活用、秘境駅から自転車で巡るツアー等、新たなツーリズムの創出。

幌延町地域振興(観光)計画 検討ワークショップについて

平成29年1月18日

幌延町地域振興(観光)計画策定 検討ワークショップ

1. 検討ワークショップの流れ



<目的>

幌延町地域振興(観光)計画に一般町民等の意見を広く取り入れるとともに、幌延町地域振興(観光)計画について、理解をして頂くために検討ワークショップを開催する。

3テーマで
これからの
姿を検討

平成28年7月6日(水) 午後6時30分～8時30分

実施済

幌延町地域振興(観光)計画の策定についての概要、本ワークショップの位置づけを説明した上で、幌延町の観光等に関わる分析データについて説明。その後、『①まちの特産品 ②まちの拠点 ③観光によるまちおこし』のグループに分かれ、“現状”と“これからの姿”をテーマにグループ討議を行う。

具体的な
“課題”と
“取組み”
を話す

平成28年10月28日(金) 午後6時～8時

実施済

前回の検討ワークショップの結果や観光客へのアンケート調査結果、町内の観光資源確認調査の結果等を説明。その後、観光による地域振興に向けた“課題”と“具体的な取組み”についてグループ討議を行う。

計画の最終版を
確認・今後の
検討

平成29年1月18日(水) 午後6時～8時

本日

幌延町地域振興(観光)計画【案】について説明し、確認頂く。計画に基づき、次年度から具体的な取組みを地域が一体となって実施するために、「なにを」「どのような体制で」「いつ」やるのかを討議する。

2. 第3回ワークショップの流れ



時間	項目	内容
18:00	1. 開会	・開会挨拶
18:05～18:15	2. 第3回ワークショップの概要 及びこれまでの調査	・これまで実施した調査の概要を説明
18:15～18:45	3. 幌延町地域振興(観光)計画(素案)について	・幌延町地域振興(観光)計画(素案)について確認いただき、意見交換
18:45～19:30	4. グループ討議	<p>・テーブル(『①まちの特産品 ②まちの拠点 ③観光によるまちおこし』)に分かれて討議 ・進行役(ファシリテーター)、decが各テーブル担当</p> <p style="text-align: center;">～ワークショップの進め方～</p> <p>①グループごとに自己紹介【2分】 →地域の方はお互いを知っているかもしれませんが、初対面の方もいるかもしれませんので、幌延町の好きなおところと一緒に簡単に自己紹介して下さい。</p> <p>②「発表役」を決める【3分】 →テーブルからの全体発表を行う発表者を選出しましょう。</p> <p>③幌延町地域振興計画(観光)計画について、次年度、具体的に実施できそうな取り組みアイデアを出し合う【40分】 →模造紙に「具体的な取り組み」「どこで・誰が」「いつ」「その他」と表を記載し、それぞれが考える具体的な取り組みについてアイデアを出し合う。 →出されたアイデアについて、同じ分類を整理し、課題等があれば追加する。</p> <p>⑥テーブル検討結果のまとめ【5分】 →テーブルの検討結果について整理します。</p>
19:30～19:45	5. 各テーブルからの発表	・各テーブルから代表者がテーブル討議について発表。
20:00	6. 閉会	



3. これまでの調査等について

＜幌延町地域振興（観光）計画の目的＞

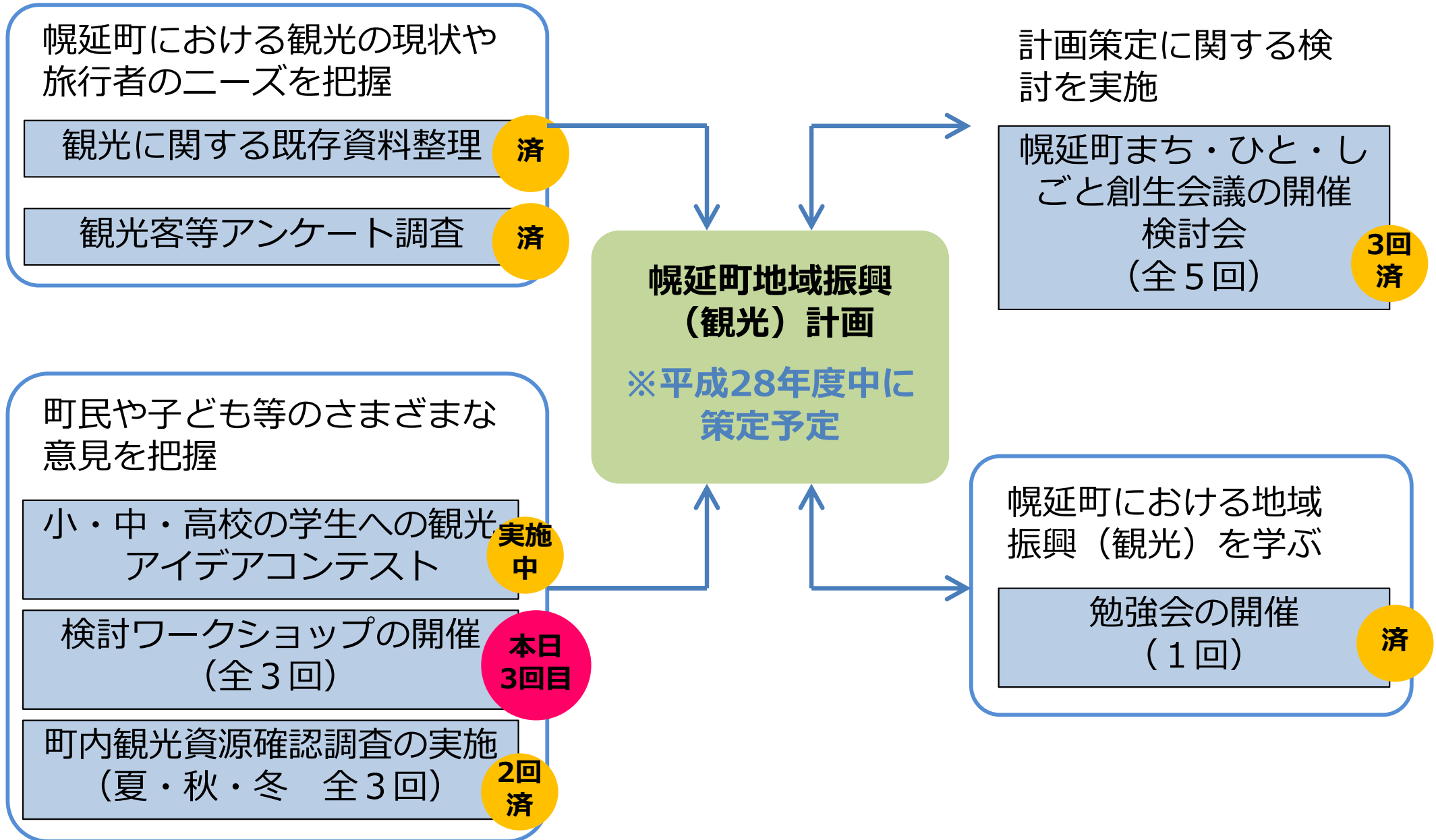
- 幌延町は平成22年4月に宗谷管内に再編され、同年に幌富バイパスが開通。平成31年頃には天塩大橋の架け替えとともに、幌富バイパスの取り付け道路が完成する予定。
- 平成24年度における幌延町の観光入込客数は約12万人で、これを平成31年度までに13万人（総合計画）、また、トナカイ観光牧場入場者数を5万人（総合戦略）、鉄道関係観光入込客数を5百人に増やすことを目標としている。
- 昨年度から観光大使や秘境駅を活用した観光振興の取組みを展開するほか、有名人を招聘したセミナー等も開催している。



天塩大橋の架け替えにより、宗谷地域を訪れるレンタカー観光客等の道路利用者の移動経路が大きく変わることが想定されるため、これを契機に、幌延町の観光振興を図るため『幌延町地域振興（観光）計画』を策定する。

3. これまでの調査等について

<幌延町地域振興（観光）計画策定に関わる調査等>



3. これまでの調査等について

第1回 幌延町まち・ひと・しごと創生会議 「幌延町地域振興（観光）計画」検討会

日時：平成28年6月22日（水） 午後6時30分～
場所：幌延深地層研究センター国際交流施設

第2回 幌延町まち・ひと・しごと創生会議 「幌延町地域振興（観光）計画」検討会

日時：平成28年10月14日（金） 午後6時30分～
場所：幌延深地層研究センター国際交流施設

第3回 幌延町まち・ひと・しごと創生会議 「幌延町地域振興（観光）計画」検討会

日時：平成28年12月21日（水） 午後6時～
場所：幌延深地層研究センター国際交流施設



第1回 検討ワークショップ

日時：平成28年7月6日（水） 午後6時30分～
場所：幌延深地層研究センター国際交流施設

第2回 検討ワークショップ

日時：平成28年10月28日（金） 午後6時～
場所：幌延深地層研究センター国際交流施設



3. これまでの調査等について

観光資源調査（夏期）

日時：平成28年7月21日（木） 午前10時～午後3時30分

調査箇所

天塩大橋の架け替え現場／トナカイ観光牧場（昼食含む）

オトンルイ風力発電所／幌延ビジターセンター

下沼湧水／パンケ沼 ※午後は自転車調査班有

幌延町の観光に関するアンケート調査

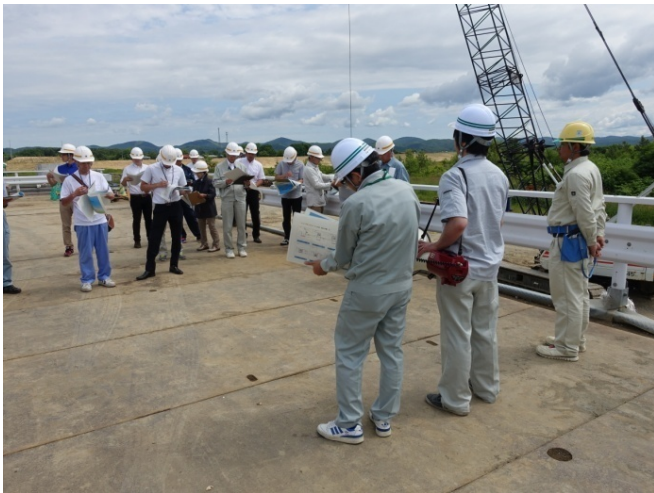
日程：平成28年8月13日（土）

～ 8月14日（日）

場所：名林公園まつり会場

トナカイ観光牧場

幌延ビジターセンター



3. これまでの調査等について

小・中・高校生への観光アイデアコンテスト 「おいでよ！ほろのべアイデアコンテスト」

応募資格：幌延町在住の小学生・中学生・高校生

応募状況：9作品

応募内容：イラスト、作文、レポート

表彰：・グランプリ／・準グランプリ
・ブルー賞（審査員特別賞）

観光資源調査（秋）

日時：平成28年10月22日（土） 午前9時～午後2時
調査箇所

糠南駅／北大天塩研究林／知駒／問寒別駅／車窓からの風景等

豪華賞品をご用意！
幌延町商品券1万円分
+合贈品、その他

おいでよ！ほろのべ アイデアコンテスト

人が集まり、楽しい「ほろのべ」を目指して

現在、幌延町では「観光と地域振興」に関する計画づくりを行っています。幌延町には、トナカイ観光牧場や幌延ビジターセンター等の観光施設やオトンルイの風車、サロベツ湿原、パンケ沼等の風景などいろいろな資源がありますが、訪れる観光客は少ない状況です。これから幌延町にたくさんの人に来てもらうために、遊びに行きたくなる幌延町、楽しい幌延町を目指すため、アイデアを募集します。これを機会に、自由にアイデアを考えてみませんか？

応募資格 幌延町内在住の小学生・中学生・高校生

応募内容 応募内容に、氏名、住所、学校名を記載し、作品は郵送、持参、メールにてご応募ください。応募資格は年齢ですが、年齢と異なる募集方法は、幌延町ホームページのウェブページをご覧ください。
<http://www.town.horobetsu.hokkaido.jp/>
※小学生以下の方の応募は、保護者様をお子様の姓でお知らせください。

表彰
・グランプリ[1本]
幌延町商品券1万円分+合贈品+その他
・準グランプリ[1本]
幌延町商品券5千円分+合贈品+その他
・ブルー賞（審査員特別賞）2~3本
幌延町商品券3千円分+合贈品+その他

イラスト・作文・レポート

作品の送付・お問い合わせ先 幌延町産業振興課 担当：角山 [e-mail] kikaku@town.horobetsu.hokkaido.jp
〒098-3207 幌延町京磯町1番地1 ■電話:01632-5-1113 ■ファックス:01632-5-2971

受付期間：2016年9月9日（金）～9月30日（金）



3. これまでの調査等について

勉強会

①目的

これからの幌延町の賑いの創出やまちづくりを考えるきっかけとして、地域活性化や景観の活用、道の駅に関する専門家を招いて講演会を開催。

②日時

平成28年10月4日(火)

18:00~20:45

③場所

幌延深地層研究センター国際交流施設
1階多目的ホール

②講師

国立研究開発法人土木研究所
寒地土木研究所地域景観ユニット
統括主任研究員 松田 泰明氏

株式会社オフィスいわい
代表取締役 岩井 護氏

④参加人数 67名



4. 第2回 検討ワークショップ 結果概要

①目的

幌延町地域振興（観光）計画に一般町民等の意見を広く取り入れるとともに、幌延町地域振興（観光）計画について、理解をして頂くために検討ワークショップを開催。

②日時

平成28年10月28日（金） 18:00～20:00

③場所

幌延深地層研究センター国際交流施設 1階多目的ホール

④参加人数 21名（参加者名簿 右記）



まちの特産品

長濱さん	伊山さん
高橋さん	藤井さん
花室さん	小田島さん

まちの拠点

野上さん	若月さん
星野さん	中野さん
久保田さん	西澤さん
丸田さん	

観光によるまちづくり

畠山さん	山下さん
村上さん	遠藤さん
藤澤さん	番坂さん
大内さん	吉原さん

4. 第2回 検討ワークショップ 結果概要



	取り組み	課題
牛乳	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳（シンプルに飲みたい） ・バターを使って銘菓とコラボ ・北海道乳製品メーカーとの連携 ・牛乳豆腐をお店で提供 ・牛乳寒天など幌延らしさを出して 	<ul style="list-style-type: none"> ●牛乳の産地をどうするか？ → 幌延牛乳ブランド化 → 第三者の評価 ●牛乳豆腐は初乳のものが喜ばれる・時期限定 ⇒ 酪農家が自らの名前で出す
湧水	<ul style="list-style-type: none"> ・下沼湧水を使った豆腐・酒 ・下沼の湧水を町内の飲食店で使用する（お冷） 	体に良い水は売りになる
トナカイ	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャーキー（トナカイ・カモ） ・産地としてこだわる ・トナカイ肉の再利用（トナカイ肉とフキ、タケノコのいためたものをジンロックで） ↑ サンタさんの乗り物なので食べなくても良いのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ●トナカイの増頭 → 使うなら増やす 個人経営のため中々厳しい → 飼育環境の充実 販売店はどこか・実行者は誰か 加工・生産する施設 ⇒ やるなら本気で！
カモ	<ul style="list-style-type: none"> ・合鴨のハム 	合鴨増頭
野菜	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の生産地となる 	有機野菜の売り方 有機野菜に興味のある若者が増えている 何らかの方法で地元を引き込む

- 今欲しいものは？ → ●道の駅（的な機能を持った施設）
（10：00-20：00開館 or 9：00-21：00開館など夜も使えるように）
 - 観光案内所・情報館
 - 車中泊可の駐車場
 - トイレ（増設・きれいであずましいトイレ）
 - Wi-Fi（駅などに設置）
 - おいしいレストラン（食堂）
 - 屋台村・出展ブース
 - 広い温泉
- 町民が集まれる場
→ ・幌延の昔話をお年寄りから話を聞ける場・場所
・同じ趣味を持つ人が集まる場所
- 楽しいメニューの充実
 - ・トナカイを使った体験（聖地サンタの里）
 - ・トナカイ観光牧場をワンピースの物語に関連付ける
 - ・トナカイにキャラ付け！
 - ・多様な方に向けた天体観測
- 地元のボランティア
 - ・トナカイ牧場の花のメンテナンス
 - ・川のクリーンアップなど
- 幌延の拠点って何？ → 誰に対しての拠点？（町民or観光客？両方？）
 - ・ビジターセンター
 - ・トナカイ牧場
 - ・役場
 - ・三日月湖付近
 - ・天塩川川の駅
 - ・国道（R40）

⇒ **今あるものを活かして！**

4. 第2回 検討ワークショップ 結果概要

観光によるまちづくり

	既存観光の磨き上げ	自然資源を活用した体験型観光	新たなツーリズムの創出
アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ● 受入施設 受け皿整備 ホテル（ベッドトイレ付）・ タクシー・バス・快適性のある トイレなど ● トナカイ牧場 肉を食べたい 赤ちゃんの成長記録 命名権 トナカイ乗り（子供がターゲット） ワンピースのチョッパーの世界観 を再現（桜並木など） 北欧的な町づくり サンタクロースの資格を取る トナカイ牧場の説明 ゆめ地創館来訪者 ● ノースガーデン 角細工増産・出品 青いケシの種を欲しがると多い エキス抽出 ※まずトナカイ・花の整備！ 新しいことはしなくていい ※課題：観光の組織化 	<ul style="list-style-type: none"> ● サロベツ湿原 サロベツ湿原の遊歩道整備 ガイド育成 花暦 星空体験 鳥屋さん取り組み ナイトハイク 自然資源の情報発信 （花・動植物の風景） ● ツアーの提案 渡り鳥観察ツアー（春・秋・冬） 水資源ツアー （湿原・サロベツ川・湧水） 環境保全ツアー （木道の修繕・沼の清掃・湿原の笹刈・ ヘルスツーリズムなど） ● 北大研究林 探検的な子供向け学習 テシオコザクラ 山菜体験・食事会 ※課題：個人ガイドの育成・組織化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 湿原ツアー サロベツ原野センチュリーライド （自転車）の開店。 コース：幌延→豊富→風車→ビジ ターセンター ● 景観 夕（ゆう）カフェを開く ※ビジターセンターにある展望台の 上で喫茶店を開く。夕日を眺める。 稚内の朝カフェ⇔幌延⇔豊富 ● 秘境駅ツアー JR下沼駅で喫茶店 下沼駅カフェ （湧水コーヒー・山菜料理） ● 鉄人（鉄道ファン）と地域住民の交 流（鉄道イベントと複合で） （コスモス・キク芋育成・山菜体験・ 除雪かまくら） ● 鉄道を折り畳み自転車で輪行 駅近くのスポットで釣り・名所めぐ りなど細微化
ターゲット	町民が楽しめて観光の方も楽しめる まず町民 アジア系外国人・本州の人	町民が自然資源を知る機会を作る	サイクリスト 道内の人 鉄道愛好家
担い手	受け皿がない・仕組みを作るのは誰？ 町民からけしかける！ 強烈的なキーマン 実行部隊・企画部隊 観光協会に専任スタッフがない	ガイドの育成 ガイドの常駐 北大演習林認定ガイド サンタ（120kg以上）	歩道整備ツアー まずは何か一発！ メディア

4. 検討ワークショップとは



○ ワークショップとは

- 『ワークショップ』とは、あるテーマについて、多くの人たちの意見を出し合う、市民参加型の会議手法です。
- できるだけ多くの参加者から、いろいろな視点での意見をもらうことを狙いとしています。（グループに分かれる理由）

★5～6名程度の少人数のグループに分かれ、グループごとに議題について意見やアイデアなどを出し合います。

★グループ討議では、リーダー・進行役が中心となり議論を進め、出された意見やアイデアなどを取りまとめます。

★出された意見は、それぞれ付箋などに記録し、項目やテーマなどに分類しながらまとめます。

★グループ討議終了後、各グループでの意見について、全体で共有するため、グループごとに発表をします。

★最後に各グループでの意見を全体で取りまとめ整理します。



5. ワークショップの注意点



○ワークショップ3つのルール（注意点）

自分の意見は
手短かに話しましょう

少数で議論しているとはいえ、できるだけ多くの意見を出し合い、共有するために、できるだけ手短かに話をしましょう。

他の人の意見は
しっかり聞きましょう

議論を深め、様々な視点からより良い話し合いとするため、他の人の意見をしっかりと聞きましょう

他の人の意見を否定し
ないようにしましょう

一見違うように思える意見も発展させたり、背景や理由を考えたりすると意外に共通点があったりします。他の意見はむしろ発展させたり、相乗りして、より良いアイデアに発展させましょう。

6. ワークショップ検討内容について

テーマ

次年度、実施できそうな
具体的な取組み

具体的な
取組み

どこで
誰が

いつ

その他
課題等

ワークショップの流れ(再確認)

18:45～【5分】

- ①グループごとに自己紹介
- ②「発表役」を決める

18:50～【40分】

- ③幌延町地域振興計画(観光)計画について、次年度、具体的に実施できそうな取組みアイデアを出し合う【40分】
 - 模造紙に「具体的な取組み」「どこで・誰が」「いつ」「その他」と表を記載し、それぞれが考える具体的な取組みについてアイデアを出し合う。
 - 出されたアイデアについて、同じ分類を整理し、課題等があれば追加する。

19:25～【5分】

- ④テーブル検討結果のまとめ